

# 明日をつむぐ



社会福祉法人 みなと福祉会報

Vol.101

2025年  
立冬号



特集 P4・5

事業所  
ふかぼり

深堀り  
いへ  
みました

No.7 しおかぜ作業所

## CONTENT

- きょうされん大会報告 ..... P2
- 秋のイベントの報告 ..... P6
- ともに育つ会から ..... P8

発行：社会福祉法人みなと福祉会

〒 455 - 0803

愛知県名古屋市港区入場1丁目114番地1

TEL. 052-355-8000

FAX. 052-355-8008

みなと福祉会 検索



# はじめよう戦後80年から咲かせよう まんまの笑顔を #ひょうたれん 第48回全国大会 in 奈良 報告



きょうされん第48回全  
国大会 in 奈良が10月17・  
18日奈良県コンベンショ

ンセンターを会場に「は  
じめよう 戦後80年か  
ら咲かせよう まんま  
の笑顔をみんなのチカラ  
奈良の地から」を  
スローガンに全国から障  
害のある人、支援者、家  
族が2,200人余り集  
まり盛大に行われました。

大会を通じて戦後80年という節目の年にあたる  
ことから「平和」について考える企画が多くあり  
ました。障害のある人と戦争をテーマにした特別  
シンポジウムでは、日本被団協事務局長の濱住治  
郎氏が「核兵器は絶対悪の兵器。再び被爆者をつ  
くらせない」という訴えがありました。

「まんまの笑顔コンサート」では、歌を通して  
平和について考えました。「約束の日」「手のひ  
らを太陽に」「ビリーブ」など平和への祈りを込  
めた歌を会場一体となって歌い楽しく過ごしまし  
た。こんな楽しいひと時も平和だからこそ、その  
平和が続くように何ができるのか改めて考える時  
間となりました。

(森脇拓恵)

奈良県コンベンションセンターの会場に着き、お弁当  
を食べて開会式に参加しました。会場は綺麗な造りに  
なっており、大きなスクリーンが3つもあり、その雰囲  
気に圧倒されました。その大きな会場に大勢の人々が座っ  
て参加しており、大会の熱気を感じられました。その後、  
利用者フォーラムと特別シンポジウムが行われました。  
私は仲間と一緒に利用者フォーラムに参加し、コンサー  
トを聴きました。その頃になると、仲間も緊張が解け  
てきたのか笑顔になり、手拍子をして楽しんでいました。  
ステージに上がってみんなで歌を歌つたり、ダンスをし  
たりして楽しく一日目が終わりました。

2日目は利用者フォーラムや分科会、仲間の観光に

分かれて様々な交流会が行われました。2日目も利用  
者フォーラムに参加し、みやびを楽しむというテーマで  
雅楽の演奏や踊りを鑑賞しました。演奏後は、雅楽の  
楽器に触れる体験ができ、仲間は笛や太鼓にチャレン  
ジしていました。午後からはダンスを鑑賞し、最後はス  
テージに上がり、みんなで踊つて楽しみました。閉会式

では、表彰式や次回の大坂への引き継ぎ、テーマソング  
を歌い無事に終わりました。仲間はテーマソングを覚え  
てしまつたようで、ノリノリで歌っている姿が印象的で  
きました。

仲間の笑顔や他の参加者と交流する姿を見て、仲間

にとつても有意義な全国大会だったと感じました。

(鯉江嘉道)

きょうされん全国大会 in 奈良に参加して

Q きょうされん全国大会 in 奈良では  
どんなことをしてきましたか？

片岡 開会式をして、おりづるプロジェクトの話を聞いた。  
基調講演は戦争の話をしていく難しかった。

水上 まんまの笑顔コンサートも参加しました。2日目は  
分科会で「はたらく」に参加しました。

Q 印象に残っていることは？

二人 利用者フォーラムの「まんま笑顔の「コンサート」」

片岡 みんなが知っている歌とか、知らない歌とかがあつ  
た。「パブリカ」「手のひらを太陽に」「上を向いて歩こう」  
とかを歌い、ステージに出て「翼をください」をみんなで  
歌つてうれしかった。

水上 「コンサートは楽しかった。「九官鳥」「蟻の会合唱団」  
「BOND」「八重櫻」など奈良の仲間の人たちと、いろい  
ろな歌をうたつて盛り上りました。

片岡 分科会では他のところは資源回収したり、弁当作つ  
たり、ダイレクトメールの仕事の話を聞いた。ダイレクト  
メールの仕事はすごい丁寧だと思った。

水上 名刺交換したことが印象に残っている。6人の人と  
名刺交換できた。東京、大阪、京都などの人たちと交換で  
きました。

Q また、きょうされん全国大会  
に行きたいですか？

片岡 機会があつたらまた行きました。

水上 片岡さんと同じように機会  
があつたら行きたいです。



# 笑顔 みつけた！

みんなよろしく

わーくす昭和橋  
巍井みつきさん



職員紹介

みんなと一緒に  
わたくし

Vol.17

みなと福祉会に入職したきっかけは何ですか？

求職のサイトを見て、みなと福祉会を知りました。実習はわーくす昭和橋で行い、みなと福祉会に興味を持つて就職試験を受けました。

直接では面接者の職員が時に雑談を交えて試験をしてくださいましたため、法人の温かい雰囲気が好きになり入職を決めました。

今回、紹介するのは、わーくす昭和橋11年目の浅井みつきさんです。みつきさんは生活介護のグループホームでお箸セットのセッティング、メソニタ美、首の甲メモリーメモリ

ノツキ作業 箱の組み立ての作業を  
担当していく、どんな作業にも持  
前の集中力で積極的に取り組む頼  
もしい存在です。

そんな積極性は所属する「仲間の会」での活躍にも繋がっています。毎月の誕生日会の放送では、歌や祝福のメッセージを元気よく届けて、お祝いの場を盛り上げます。

「仲間の会」はみつきさんが好きな活動の一つで、これから頑張りましたい事もあります。

みつきさんの最大の強みは、誰とでもすぐに仲良くなれる明るい性格と優しさです。お話を大好きで新しい職員ともすぐに仲良くなります。職員や仲間に「おはよう!」「元気?」と積極的に声をかけ、最近あつた出来事などをお話をします。みつきさんと話していると、時間があつという間に過ぎてしまします。

特に素敵なのは、仲間に對する優しさです。困っている仲間がいると、すぐに気づいて「大丈夫?」と声をかけたり、いたずらをしてしまう仲間のことを、「千々二三

う何間のことも笑って語ることができます。そんな姿には職員も学ぶところがいっぱいです。

そしてみこさんといえばディズニー愛です。普段からお気に入りのディズニーキャラクターの服を愛用していて、その日の装いについて話すと、楽しそうに好きなキャラクター やエピソードを語つて、周りの人たちを和ませてくれます。最近は「パウ・パトロール」という海外のアニメにもはまっているそうです。

好きなことをずっと大切にできるみつきさんと、これからも一緒に楽しい時間を重ねていきたいと思っています。今後のご活躍が楽しみですね！



うろじの家  
水谷和典さん

仕事をやめていいことばなし

仕事の休憩時間に、仲間と一緒にになって楽しくおしゃべりをすることや、他愛のないことでお互い笑いあつたりしているときが楽しいです。ほかのグループから遊びに来てくれる仲間もいて、仲間から「水谷さんは、いろいろ楽しい話題を話せるから楽しいです。」と言われるところになります。

私は子どもが2人いるので、家族と一緒に遠くまで遊びに出かけることが楽しみの一つです。

趣味は、野球です。草野球のチームに所属していく、多くの試合に月に1～2回参加して体を動かしています。

今後やつてみたいことはありますか？

ひとりドライブをして、様々な県のサービスエリアを巡りをしてみたいのです。

## これからのお願い

私が仕事をする上で大切なことは、自分が職員の立場だけではなく中間と団体との人間として、中

間の前にいたいということです。

うれしいことや悲しいことを、一緒に  
て共に経験することが大事だと思います。

うれしいことや悲しいことを一緒にひとりの人間として共に経験することが大事だと思います。

# 深堀りいへ みました

せ作業所



## 療育グループ



午前中に弁当配達や食器の仕分け、ミシンで授産製品を作る仕事をおこなっています。  
タオルの柄に仲間が描いたデザインを採用しています。



## 縫製グループ

午前中はお弁当の配達、午後は室内作業をおこなっています。  
港区役所1階の「みなと一里」では、お弁当の他にもタオルやビーズを販売しています。



## カラオケ(土曜開所)

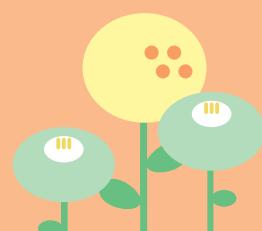


## クッキング(創作活動)

## 防災のとりくみ

# 配食グレープ (就労B型)仕事の ようす

『健康』『安心』『地産地消』を心がけた手作りのお弁当を製造しています。  
具材を切って味付けをしたり、見本を見ながらお弁当の盛り付けをしています。



## 行事・土曜開所・創作活動

外出の取り組みでは、仲間たちから行きたい場所やしてみたい体験を募り、意見を反映することができるようになっています。自分で選んだ活動に参加し、自分たちで楽しみを見つけていく経験を重ねています。



配食日帰り旅行

# 洗浄グループ

弁当配達時に引き取ってきた空のお弁当箱の洗浄をおこなっています  
また、名古屋市から委託されたリユースカップの洗浄の仕事もおこなっています。



## ボーナスのとりくみ



# 秋はまつりで大にぎわい

さざなみ秋まつり 9月27日(土)

今年もたくさん盛り上りました

## ①ヨーヨーつり

今回はミニオンのビニールヨーヨー！可愛くてどれを取ろうか迷っちゃうくらいです。

## ②ワニワニパンチ

一度はゲームセンターでやったことがあるのではないでしょか？これ本当に手動ですか？！というくらい上手に職員がワニさんを出し引きします。

## ③たからさがし

お題に書かれた5つのお宝ボールをビニールプールの中から探し出します。ビニールプールで遊びたいと、ダイナミックにダイブする子もいました。

## ④言葉ならべ

文字が壁一面に散りばめられ、言葉になるように文字をあつめて並べていきます。

## ⑤落ち葉キャッチ

上から降ってくる落ち葉を網やトングでキャッチします。降ってくる色とりどりの落ち葉を、たくさんキャッチしようとみなさん夢中になっていました。



## ⑥フローボール

去年の得点420点を塗り替える435点が出ました。ボールを転がすだけのルールで誰でも高得点が期待できます。

保護者の方から「クオリティーが高いですね！」とお褒めの言葉もいただきました。みなさん、両手にたくさんお土産を抱えながら笑顔で一緒にゲームをしていました。これからも、さざなみを通して家族との時間を提供していきたいと思います。



イルカ作業所まつり 11月8日(土)

コロナの影響で中止となっていたイルカまつりを今年6年ぶりに開催しました！

6年ぶりのまつりということで仲間たちも嬉しそうにしており、イルカまつりを開催すると知ってからは「楽しみ～！」という声が聞こえてきました。

これまでのまつりとは違い、イルカ作業所の前にある広場をお借りしてステージトラックを使用してステージ発表をしたり、作業所で収穫した「さつまいも」の詰め放題、イルカまつり限定アウトレットふきんの販売をしたりしました。

当日は晴天に恵まれ、イルカの仲間・職員でそろいのTシャツを着用してそれぞれの売り場の担当につきました。空いた時間で各ブースを回り、わーくす昭和橋の肉まんやしおかぜ作業所の大学芋を食べたり、他の団体様や地域の方の商品を買ったり食べたりしてイルカまつりを楽しみました。ステージ発表も各団体盛り上りました！もちろんイルカの発表も仲間・職員だけでなくお客様を含めた全体で盛り上がり、仲間の会の会長と相川所長からの言葉で今年のイルカまつりを終えました。

今回参加してくださった出店者様、出演者様、本当にありがとうございました！

# 2026年度から中期5ヶ年計画 みんなねがじをつくって 策定委員会



みなと福祉会では、これまで5年ごとの中期計画を策定しながら事業を展開しています。今年度が第7期中期計画（2021年～2025年）の最終年であることから5月より第8期中期委員会を立ち上げ、計画策定に向けて検討を進めているところです。

第7期中期計画では、新型コロナ感染症の影響で2023年5月の5類移行までは、濃厚接触者の特定、事業所の一部閉所、3密の回避、消毒の徹底などの感染・予防対応に追われ、事業展開にも影響がありました。この5年

間の達成できた「成果」と達成できなかつた「課題」を明確にするために、第7期の振りかえりを進めています。一方で、仲間・家族・職員それぞれの現状と将来に向けての思いや願いを把握するためのアンケートを実施しました。結果、延べ261名の方からご回答をいただきました。現在は、仲間・家族・職員各担当がアンケート集計・分析を行っているところです。

職員の所では、新たな取り組みとして人材確保が難しい中、事業を継続・発展するために中期計画が「みんなと福祉会の職員として」や「自分事として捉えられるように」というねらいを持つて、各事業所代表者が集まって話し合う「あすを語る会」を開催して、交流を重ねてきました。

今回の第8期中期計画策定委員会は、第7期中期計画を振りかえり、みなと福祉会の現在地を確認し、みんな頂いた多くの願いや思いをもとに、これから進むべき目標の再設定の場であります。現在地からの次なる一歩。その先、目標へと進む道しるべ役割となるよう具体的な計画を第8期中期計画として策定していきたいと思

（坪谷雄介）

## 編集後記

明日をつむぐ立冬号の記事作成、編集に沢山のご協力ありがとうございました。今回はきょうされん第48回全国大会の報告や事業所ごとのお祭りの様子が取り上げられ、みんなの活気ある様子に元気をもらった方も多いと思います。

みんなで参加したり企画するイベントが仲間や職員のエネルギーとなり、その経験がこれからにつながっていくと思います。

今回私は「仲間の笑顔を見つけた」を担当したのですが、記事作成を通して仲間の個性や長所を改めて発見することができ、限られた文字数の中で紹介したい事をまとめるのが大変であると気付きました。忙しい日々のなかでも意識的に周りを見つめなおすことで沢山の発見があるのだと実感しました。

至らない点もあったかと思いますが、最後までお読みいただきありがとうございました。次号も暖かく見守っていただけると嬉しく思います。

（平井信子）

## 第49次きょうされん 国会請願署名ご協力のおねがい

優生保護法裁判の最高裁判決と補償法の成立は、日本の人権政策にとって大きな一步となりました。しかし、日本では根強く優生思想による偏見・差別が残っています。

また、福祉現場の職員不足や事業所の財政難は年々深刻になっています。これらの課題から障害がある人の権利を守り、必要な支援が十分に受けられるよう、第49次きょうされん国会請願署名に取り組みます。

皆様のご協力を、よろしくお願ひいたします。

### 《請願項目》

1. 障害のある人が安心して生活できるよう障害年金を増額してください。
2. 深刻な家族介護依存から脱却するために暮らしの場やヘルパー制度を早急に拡充してください。
3. 障害のある人たちが十分な支援を受けられるよう職員不足の最大要因である低賃金を解消するために、基本報酬をはじめとした公費を大幅に引き上げてください。
4. 障害のある人や子どもが利用する障害福祉や補装具等、生活に不可欠な支援の自己負担を廃止してください。
5. 障害のある人が65歳になっても、自己負担なく、必要な支援を自ら選べるようにしてください。
6. 地域生活の基盤として大切な役割をもつ地域活動支援センターについて、国の責任で実態を調査し、安定した運営ができるよう制度を拡充してください。

港区障害者(児)とともに育つ会  
〒455-0803 港区入場1-114-1  
TEL(052)355-8000

2025年 立冬号



**定期総会を開催しました**  
**あつまり学び交流しよう**  
**つながりを大切にしよう**

9月19日に南陽交流広場会議室において、定期総会を開催しました。会の冒頭、石川会長から家族や職員など関係者のつながりが少なくなってきている時代だからこそ、集ること、学び交換しあうこと、そしてつながりやすい力をあわせて行動することを大切にしようとあいさつがありました。

また今年も愛障協から梅尾会長が駆けつけてください、あいさつをいたしました。

前半には、NPO法人権利擁護支援から、「障害のあるわが子（兄弟）を誰かに託すために」のテーマで講演がありました。成年後見制度についての説明と概要につづき具体的な事例をもとに、わかりやすくお話ししていただきました。

総会では、久野事務局長から議案の提案がおこなわれました。活動の報告では、港区との懇談会において仲間たちの要望を仲間たち自身が直接、担当者に語ることができたことや全体での学習交流会を開催してきたことなどが報告されました。活動計画では、暮らしがいを届けたいと考へています。学習交流会を開催してきたことなどが語られました。活動計画では、暮らしやすい街づくりにむけて身近なところからの要望を障害当事者や家族から出し合い交流し、懇談会に結びつけていくことや、会員全体で学び交流するとりくみを継続させ会を発展させていきましょうと提案されました。特別報告では役員の大川さんから、8月に広島でおこなわれた原水爆禁止世界大会での様子について動画を交えての紹介がありました。

活動報告と計画、2024年度決算と2025年度計画、役員体制について、すべて提案どおり承認されました。

## みなさんからのたくさんの声をもとに 港区へ要望書を提出しました

今年で24回目となる要望書については、仲間・家族・職員・一般会員のみなさんから76の声が寄せられました。担当で32項目にまとめ10月3日に港区地域力推進課に提出しました。

今回は、

①国に働きかけてほしいこと

②名古屋市としてすすめてほしいこと

③港区としてすすめてほしいこと

④防災に関する要望

の4つの構成としました。回答をもとに今年中に懇談の場を設け、直接ねがいを届けたいと考えています。

以下、もっとも身近な港区としてすすめてほしいことの要望をいくつか要約して紹介します。

- 事業所から公園に散歩などで出かける際にトイレで困ることがあります。公園のトイレをバリアフリートイレにしてください。災害時などにも役立つと思います。
- 港区役所の2階の講堂に上がるのに車椅子や足の不自由な方は、遠回りが必要です。講堂に上がる専用のエレベーターを設置してください。
- 駐車場の車椅子用の場所に普通の人があ自転車を停めることがあるのです困ります。改善するよう区として周知をおねがいします。

不安な地域に街灯を増やして。でこぼこのある歩道を整備して。などがされています。  
また、防災の関係では、南陽地区の事業所では災害時に津波や液状化なども心配なので行政の方たちへの協力のおねがいなども入れています。

みなさんからのたくさんの声をもとに港区へ要望書を提出しました

活動報告と計画、2024年度決算と2025年度計画、役員体制について、すべて提案どおり承認されました。

日 時：12月4日(木) 13:00 – 15:00  
会 場：港文化小劇場（入場無料）  
内 容：パラリンピック選手たちから「私の知らない自分探し」～パラスポーツとの出会い～のテーマでのお話しや対談

ぜひ、お出かけください

〈港区障害者自立支援連絡協議会からの情報〉

**障害のある方を理解する研修会のおしらせ**  
**「みんなでつながりをもう！～ともに生きるまちを～」**

日 時：12月4日(木) 13:00 – 15:00

会 場：港文化小劇場（入場無料）

内 容：パラリンピック選手たちから「私の知らない自分探し」～パラスポーツとの出会い～のテーマでのお話しや対談

ぜひ、お出かけください